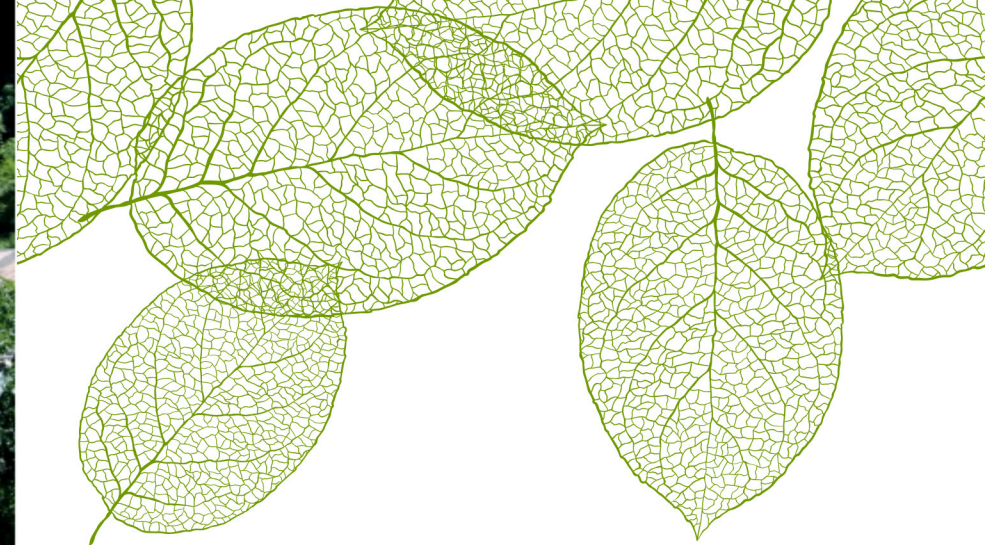


忙しい日々には癒れているあなたへ、
明日香村の旅を満喫したいあなたへ。



A S K A M U R A

明日香村

奈良女子大学

※このパンフレットは、奈良女子大学の学生達が地域貢献を目的に作成しました。
(2024 年度前期授業「キャリアデザイン・ゼミナール B(37) 国際グループワーク A」)

明日香村

6世紀末から7世紀にかけての約100年間、都が置かれ、
聖徳太子の「一七条憲法の制定」、中大兄皇子と中臣鎌足による「大化の改新」など、
律令国家体制の礎が築かれた「日本のはじまりの地」として知られています。





橿原神宮前駅東口からスタート！

運賃290円
所要時間14分

飛鳥大仏

運賃290円
所要時間7分

石舞台



p.6 参照



p.5 参照

花工房花夢花夢

Kamukamu

アクセス 飛鳥駅から徒歩5分

入場料 1,000円

ウェブ <https://www.hana-kamu.com/sp/>

✓ 飛鳥寺

Asuka temple

アクセス 明日香周遊バス「飛鳥大仏前」下車 徒歩1分

入場料 無料

ウェブ なし



p.7 参照

✓ 石舞台

Ishibutai Tomb

アクセス バス停「石舞台」下車徒歩2分

入場料 一般 300 (250) 円、高校生～小学生100 (50) 円

※ () は団体料金 (30名以上)

ウェブ なし

「明日香周遊バス（1日・2日）フリー乗車券」

「明日香周遊バス1日フリー乗車券」（大人 750円 / 小児 380円）

「明日香周遊バス2日フリー乗車券」（大人 1,100円 / 小児 550円）

赤かめ周遊バスや桜井飛鳥線等、が何度でも乗り放題！

バスで色んな場所を乗り降りしながら

大変お得に明日香を巡っていただけます。

この乗車券は次の窓口で買い求めいただけます

近鉄橿原神宮前駅（駅中央改札口）

近鉄飛鳥駅前（飛鳥びとの館）TEL:0744-54-3240

石舞台（石舞台駐車場料金所）TEL:0744-54-4577

奈良交通八木案内所（八木駅南口 かしはらナビプラザ内）

セブンイレブンハートイン JR桜井駅南口店

かしはら観光インフォメーションセンター神宮前 TEL:0744-27-2070

キトラ古墳壁画体験館「四神の館」TEL:0744-54-5105

もしくはジョルダンが運営するアプリ「乗換案内」にて販売中！



p.10 参照



高松塚古墳

p.9 参照

Takamatsuzuka Tumulus

アクセス 近鉄飛鳥駅から徒歩12分、又はバス停「高松塚」

入場料 一般300 (250) 円 大学・高校生130 (100) 円、
中学・小学生70 (50) 円 ※ () は団体料金 (10名以上)

営業時間 高松塚古墳 24時間営業



p.11~参照



奈良県立万葉文化館

Nara Prefecture Complex
of Man'yo Culture

アクセス 飛鳥大仏から徒歩7分

入場料 ページ参照

ウェブ <https://www.manyo.jp/>



石舞台から！



運賃220円
所要時間5分

川原



運賃320円
所要時間14分

飛鳥駅

花工房 花夢花夢

アクセス 飛鳥駅から徒歩5分
入場料 1,000円
ウェブ <https://www.hana-kamu.com/sp/>



SUMMER SALE

hanakoubou kamukamu



7月5日(金) 13:00~15:00
7月6日(土) 10:00~15:00

販売場所 工房

お知らせにもお知らせ下さい。
※要 紹介者名

注：お車は谷へお停め下さい

講習日程、
ファンクラブの申し込み、
季節イベントの情報など、
ラインからも得られます！

お花が好きな方へ
おすすめ！

動画サイト

・モルタル大改造中庭ちょこっと進展6

[https://youtu.be/80MGs7d-gaM?](https://youtu.be/80MGs7d-gaM?si=yomt_EUoBEip-zL3)

si=yomt_EUoBEip-zL3

・カフェブリックス

[https://youtu.be/guSeKL8lbt8?](https://youtu.be/guSeKL8lbt8?si=Bh1UORkdWqknm1pJ)

si=Bh1UORkdWqknm1pJ

・Garden東の谷

[https://youtu.be/Y7HhZSSHEGo?](https://youtu.be/Y7HhZSSHEGo?si=RvEK6GWhNVXfGn6i)

si=RvEK6GWhNVXfGn6i

・花の谷6月の様子

[https://youtu.be/taEYX53STxk?](https://youtu.be/taEYX53STxk?si=4xHoN1U2aO3Q64g7)

si=4xHoN1U2aO3Q64g7

・花の谷六月の様子2小人の丘

[https://youtu.be/luCMjDgGFwg?](https://youtu.be/luCMjDgGFwg?si=PHrqOpaxsw66UITI)

si=PHrqOpaxsw66UITI

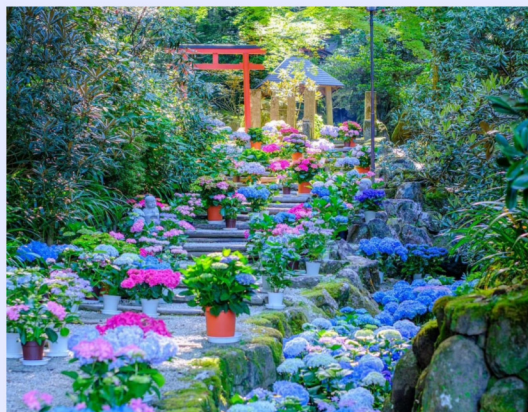
ショクナナチャンネルにチャンネル登録すると、新しい動画は、配信され次第上がってきますから、ぜひご登録ください。再生リストボタンを押すと古いものも全部順番に見ることができます。講習に來れない方には、材料を組んでお渡することもできます。ご予約ください！

奈良県の岡寺（龍蓋寺）は、天智天皇2年（633年）に義淵僧正が創建しました。当初、伽藍は別の場所にありましたが、草壁皇子の岡宮を譲り受け「岡寺」と呼ばれます。

伝説では、義淵僧正が村人を苦しめていた龍を封じ込めたため「龍蓋寺」と名付けられました。山の中腹に位置し、歴史的な書院や仁王門、本堂が佇んでいます。

本尊は天平時代の如意輪観音坐像（重要文化財）で、女性の厄除け観音として信仰されています。像高4.6メートルで日本最大の塑像です。

岡寺は西国三十三所観音霊場の第7番札所で、四季折々の美しい風景が楽しめます。訪れる人々に深い感動を与える歴史と自然の調和が魅力です。



岡寺

アクセス 近鉄 橿原神宮前駅 東口より奈良

交通バス「岡寺前」下車、徒歩約10分。

入場料 あり*ホームページ参考

ウェブ <https://www.okadera3307.com/>

・飛鳥寺とは？

6世紀末から7世紀初めに蘇我馬子の発願で建てられた日本最古の本格的仏教寺院。鎌倉時代に伽藍の大半を焼失して、現在の本堂は江戸時代に再建された。本尊である銅造釈迦如来坐像は創建時、飛鳥時代の作で日本最古の仏像として、「飛鳥大仏」の通称で親しまれている。



本宮

飛鳥大仏は安置されている本宮。創建時に、ほぼ同じ位置に中金堂が建っていたが、今本堂の前に中金堂の礎石が残っている。



Askade

アクセス 明日香周遊バス「飛鳥大仏前」下車 徒歩1分

入場料 無料

ウェブ なし

石仏三体

左から、大聖不動明王様、観世音菩薩様、弘法大師様。良縁成就、商売繁盛、学業成就など、水をかけてお祈りすると願いが叶うそうだ。

釈迦如来像(飛鳥大仏)

飛鳥寺の本尊で、飛鳥大仏の通称で知られる。1940年（昭和15年）に重要文化財に指定されており、指定名称は「銅造釈迦如来坐像（本堂安置）1軀」である。像高は275.2センチメートル。

鎌倉時代の火にさらされた飛鳥大仏は、オリジナル部分は目周辺や右手中央の指3本などで、今の姿のほとんどが後世の作というのが通説である。

飛鳥寺

石舞台

石舞台とは？

6世紀に築造した巨石30個を積み上げて造られた石室古墳。日本最大級の規模。墳丘の盛土が全く残っておらず、天井石の上面が広く平らで、まるで舞台のように見えるその形状から古くから「石舞台」と呼ばれている。この巨大古墳が誰の墓なのかは不明であるが、付近に蘇我馬子の庭園があったことから、馬子の墓ではないかとの説が有力。

★ ★ ★
 昼と夜の姿が違って、
 季節ごとに景色が変わるから
 是非どうぞ！

アクセス バス停「石舞台」下車徒歩2分
 入場料 一般 300 (250) 円、高校生～小学生100 (50) 円
 ※ () は団体料金 (30名以上)
 ウェブ なし

<昼>



<夜>



<冬>



<秋>



2

4

3

Info.



位置 〒634-0138 奈良県高市郡明日香村越6-3

営業時間 8:30~17:00 (年中無休) ※年末年始を除く



位置 〒634-0131 奈良県高市郡明日香村御園2-1

営業時間 午前9時~午後5時
年中無休 (但し正月は除く)

『飛鳥びとの館』



- ・いちごジャム 500円/ 奈良県産のあすかるびー使用！ 特に栄養価の高い黒米がおすすめ！
- ・古代米 (200グラム) 700円 (35グラム) 200円/ 生産量が少ないため、とても希少価値の高いお米です。



明日香村内の農家さんが持ち寄った新鮮なお野菜、果物が購入できます！

おみやげは
ここで！

高

高松塚古墳



高松塚古墳は、藤原京期（694年から710年）の間に築造された古墳であ

り、直径23m（下段）及び18m（上段）、高さ5mの二段式の円墳です。壁には

色鮮やかな男女群像や青龍、白虎、玄武、日・月像、天井に星宿が描かれていま

した。被葬者は特定されておらず、3つの主な説があります。（天武天皇の皇子

説・臣下説・朝鮮半島系王族説）

<Info.>

- ・アクセス 近鉄飛鳥駅から徒歩12分、又はバス停「高松塚」
- ・入場料 一般 300（250）円 大学・高校生130（100）円、
中学・小学生70（50）円 ※（ ）は団体料金（10名以上）
- ・営業時間 高松塚古墳 24時間営業



高松塚壁画館

いち！

に！

さん！



■ 北壁の玄武



玄武は亀に蛇が絡む北方の星宿をかたどった動物図であり、北の方向を司る神獣。色は黒、季節は冬を示します。
(玄冬という言葉の由来)



■ 西壁女子群像



「飛鳥美人」として有名な壁画。
左から一番目の女性の青色の円翳（えんえい）をかざし、如意をもっている女性もいる。
全女性が縦模様の長い裳を身に着けて、髪を束ねて後ろに結んでいる。（円翳：高貴の方の外出の際に顔を隠す用具 如意：儀式に用いる用具）



■ 星宿図



石槨（棺を納める室）内の天井にほぼ中心の位置に、紫微垣の星、周辺には東西南北の四方に各七宿、計二十八宿の星宿を描かれている。
星は9mmの円形の金箔を緊迫を張り付けて、赤い線で結んで星宿を表している。
(紫微垣の星：天帝が住んでおられる星 星宿図：四神の由来となっている)



奈良万葉文化館西口から徒歩3分！

開館時間

10:00～17:30（入館は17:00まで）

休館日

毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日の平日）

年末年始（今年度12月28日～1月4日）

展示替日

2024度は5月：8日9日14日～17日、7月：9日10日17日～19日、9月：18日19日、10月：16日～18日、12月10日11日、3月：11日～14日

※詳しくは「年間スケジュール」より

観覧料

＜入館料＞ …… 無料（一般展示室・特別展示室は観覧無料）

＜展覧会観覧料＞ …… 有料（くわしくは 展覧会・イベント・講座 の各展覧会情報をご覧ください）

＜駐車場料金＞ …… 無料（利用時間 万葉文化館開館日 9時から18時）

万葉のふるさとである奈良の「万葉集」を中心とした古代文化を楽しみ、学べる施設です！入館はなんと無料！！

クイズや万葉劇場で、万葉の世界に詳しくなっちゃおう！

一般展示室ではタイムスリップしたような写真撮れます！まったりと万葉の世界に浸ってみてはいかがでしょうか？

奈良県立万葉文化館

いち！



に！



さん！



■ 渡り廊下の吹きガラス

■ 万葉劇場

■ 歌の広場

施設内の渡り廊下の天井を見上げると、そこにはたくさんの植物の吹きガラスがありました。これらの植物はすべて万葉集にて詠まれた植物なんだそうです。とても迫力があり、そして美しく、つい立ち止まり、見入ってしまいました。皆さんもぜひ見てみてください！

万葉劇場は万葉歌人の歌をもとに、歌人の心情、人間関係や時代背景を取り上げ、人形、映像、アニメーションなどの手法で紹介する劇場です！
人形と映像による歌劇「額田王」「柿本人麻呂」、アニメーション「万葉のふるさと」の3本立てです。
親しみやすい形で万葉の世界を垣間見ることが出来ます。一日に複数回公演を行っているので、時間に合わせて訪れてみてはいかがでしょうか？

古代の市空間を再現した空間で(前ページ参照)、一歩この空間に入れば、あなたも万葉びとの一員になったような写真が撮れちゃいます！個々の小屋では、万葉集を中心とした様々な歌に出会えます。またここにはクイズ形式のゲームや常陸国風土記や日本書紀に載せられた物語を題材とした紙芝居があり、万葉文化について楽しく学ぶことができます！

おみやげは ここで！

(in.奈良県立万葉文化館)

館内のミュージアムショップにて、
人気のお土産を聞いてみました！



館内には、お土産を購入できる
ミュージアムショップが
あります！
ここでは紹介しきれないほど、
多くのお土産があるので、
なにか思い出の品をこちらで
お求めになってはいかがでしょうか？

- ・はにわ 1つ200円/ コンパクトでお手ごろな値段のため、友達へのお土産に最適！クセになる可愛さでした！
- ・日本画絵はがき 1枚100円5枚400円/

文化館が所蔵する万葉日本画154点と万葉日本画大賞展受賞作品15点が絵はがきにぜひお気に入りを見つけてみてはいかがでしょうか。

小話 『令和について』

皆さんは「令和」の元号の由来をご存じでしょうか？実は、万葉集が由来となっているんです！これを知ると万葉集が少し身近に感じられますね。

「万葉集」巻5・梅花歌三十二首序文

初春の令月（れいげつ）にして、気淑（よ）く風和（やわら）ぎ、梅は鏡前（きょうぜん）の粉（こ）を披（ひら）き、蘭（らん）は珮後（はいご）の香（かう）を薫（かお）らす

〔現代語訳〕新春のよき月、空気は美しく風はやわらかに、梅は美女の鏡の前に装う白粉（おしろい）のごとく白く咲き、蘭は身を飾った香の如きかおりをただよわせている（中西進氏著「万葉集」）

これは大宰府で長官を務めていた大伴旅人が自宅の梅園に友人を集めて歌会を開いた際に、周囲の自然の美をめでた文章です。

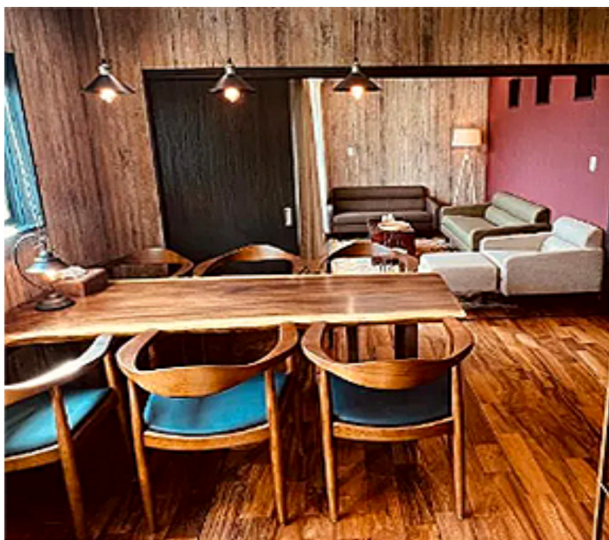
悠久の歴史と薫り高き文化、四季折々の美しい自然。こうした日本の国柄を、しっかりと次の時代へと引き継いでいく。厳しい寒さの後に春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、一人ひとりの日本人が、明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる。そうした日本でありたい、との願いが「令和」に込められました。

（内閣府HP参照）



女性専用貸切の宿 ・月舟庵

Private female-only
accommodation
Tsukifunean



石舞台停留所周辺

明日香村にある女性専用貸切の宿月舟庵
Private female-only accommodation
Tsukifuneanは、すべてのお部屋に専用テ
ラスが備わる宿泊施設です。

- ・アクセス 奈良県高市郡明日香村阪田564
564Sakata Asuka-mura Takaichi-gun Nara, JAPAN
- ・費用 1泊 大人2名 20000円～
- ・ホームページ <https://tsukifune.com/>

泊りは ここで！

・B & B Asuka

川原台停留所周辺

英国アンティーク家具で整えられた洋風
の宿。明日香の中心に位置し、甘樫丘へ
は徒歩で30分。橘寺へのアクセスも抜
群です。

- ・アクセス 〒634-0141 奈良県高市郡明日香村川原55
- ・費用 1泊 大人2名 合計(税込) 15,400円～1名 7,700円～
- ・ホームページ <http://www.bb-asuka.jp/>



Coffee House Misono

・珈琲の館御園



飛鳥駅周辺

43年間明日香村で喫茶店を経営しております。店内は高天井で落ち着いた雰囲気、飛鳥駅から便利な立地。4種類のモーニングが魅力。旅の疲れを癒す場所で、美味しいコーヒーも楽しめます。

- ・アクセス 〒634-0144 奈良県高市郡明日香村御園1-1
- ・営業時間 7時半-18時
- ・定休日 年中無休

味わおう、 明日香村

・Matsuyama Cafe

飛鳥駅周辺

広々とした空間で居心地が良く、料理はどれも手が込んでおり美味しかったです。店舗は素敵で、コーヒーは香り高く、自家製のケーキもおいしく、ゆっくりと寛げました。店内の椅子や机は懐かしくておしゃれで、全体的に落ち着いた雰囲気が魅力です。

- ・アクセス 明日香村越2-1-1 Takaichi-gun, Nara, Japan
- ・営業時間 平日11時-17時（土日祝は18時）
- ・定休日 水曜日・第2.3火曜日



Cafe Kotodama

・ カフェ ことだま



バス停「石舞台」周辺

築200年の元酒蔵をリノベした古民家カフェです。

- ・ アクセス 〒634-0111 奈良県高市郡明日香村岡1223
- ・ 営業時間 10時～16時半（土日祝は17時）
ランチ：11時～14時
- ・ 定休日 火曜日・第3水曜日

味わおう、 明日香村

・ poca frere (ポカ フレール)

バス停「石舞台」周辺

「ポカ フレール」は、心も体もぼかぼかする料理が魅力のカフェ。明日香村産の旬野菜を使ったランチメニューや自家製デザートが人気です。

- ・ アクセス 〒634-0112 奈良県高市郡明日香村島庄51-1
- ・ 営業時間 平日11時-17時（土日祝は18時）
- ・ 定休日 水曜日



Coffee Sanpo

・珈琲さんぽ



バス停「川原」周辺

自家焙煎珈琲・喫茶・豆売り・海南鶏飯が特徴的なカフェです。

- ・アクセス 〒634-0111 奈良県高市郡明日香村岡55-4
- ・営業時間 11時～17時(ラストオーダー16時)
- ・定休日 毎週木曜日・金曜日

味わおう、 明日香村

Genkina Kajitsu Kobo

・げんきな果実工房

バス停「飛鳥大仏」周辺

自家栽培の果実を使った低糖度ジェラートを提供。自然の味を大切にしています。

- ・アクセス 〒634-0103 奈良県高市郡明日香村飛鳥207-7
 - ・営業時間 11時から17時(3月～11月)
 - ・定休日 金曜・土曜・日曜・祝祭日
- ※ 冬季休業は12月1日～翌2月末日



人との出会いが
人生を変える。

自分がワクワクしていたら、
周りの人と得意分野を補って
100も1000も力を生み出します。

花工房 花夢花夢

吉村雅代さん

「全国花いっぱいコンクール地域の部」で「第34回農林水産大臣賞」「第37回建設大臣賞」「第40回毎日新聞社賞」を受賞された、花のまちづくりアドバイザーである吉村さんが明日香村で展開するのは、物語のある庭づくりを参加型で楽しめる「花工房花夢花夢」だ。

モルタル造形と四季折々の草花が互いに寄り添いながら輝くこの場所では、定期的にオープンガーデンが開かれ、植栽などのセミナーが催されている。

花工房の生徒さんたちの作品が1つになり形成されている花の谷オールドビレッジは2019年にオープンし、まだまだ発展途中である。楽しみ方は訪れる人と作る人の数だけあり、歩いてお気に入りの場所で写真をとるだけでも良し、イベントに参加してモルタル作りに励んでも良し。

ディズニー職人から景観作りの指導を受けた吉村さんによる庭の案内は、夢を見ることを忘れない大人のかっこよさを教えてくれる。



※このパンフレットは、奈良女子大学の学生達が地域貢献を目的に作成しました。
(2024 年度前期授業「キャリアデザイン・ゼミナール B(37) 国際グループワーク A」)

奈良女子大学 (Nara Women's University)

奈良市にある国立女子大学です。明治 41 (1908) 年に設置された奈良女子高等師範学校をその前身としています。文学部、理学部、生活環境学部、工学部の 4 学部と大学院 (人間文化総合科学研究科博士前期課程／博士後期課程) を有しています。

奈良女子大学と授業について
詳しい説明はこちらから



学生たちが作ったこの作成物は
いかがでしたか？

